常磐毎日新聞
二月一十四日　夕刊
定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵税五厘
廣告料　普通二行五拾錢　場所指定二行七拾錢
日曜祝祭日の發行休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
國島縣、平、長塩町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（出張口座）東京　四〇二二〇番

警戒を尻目にかけ電柱によぢ登つて切斷する殺那捕る

圖々しい電話線の窃盗犯人

遞信當局が協力してお手柄

最近内郷村白水地内の遞信電話線が瀕々として切斷窃盗されるので平署では遞信當局と協力二月初旬頃から綴派出所を本據として犯人嚴探中のところ二十三日夜白水山林内の電柱によち登り電線を切斷せんとしてゐる男があるのを發見、平署瓜生部長、櫻井、菊池兩駐在巡査が馳付け格闘の上取押へ本署に連行取調べると

同人は安積郡片平村生れトラ二男當時内郷村白水字白畑元高階炭礦坑夫岡部智議（二七）と言ひ去る一月下旬から前後八回（一回約百米宛）に亘り電話線二千五百米を切斷窃取し他に賣却遊興してゐたことを自白したがさきにも同人は窃盗罪に問はれ平檢事局で起訴猶豫處分に附されたことがあり他にも餘罪があるらしいと

平市農會初代總代の選擧

投票區域兩分

平市農會初代惣代選擧は既報の如く二十七日午前九時から午後三時まで無記名投票に依つて行はれるが投票場は第一區（舊平町關係）は平國體事務所、第二區（舊平窪村關係）は平窪元役場跡で執行第一區、第二區共に定員十六名の計三十二名であると

縣議一名の增員

本郡に割當らし

國勢調査に基いて縣では目下算定中

明年改選が行はれる縣會議員は現在定員四十三名より一名增員して四十四名となり各郡市の選出定員數にも異動を來すので縣では國勢調査の

人口に 基き目下算定中であるが、うち一名の增員は石城郡に割當てられることは殆ど確定的である、即ち同郡選出縣會議員は先に六名であつたところその後市制施行に伴ひ昨年縣參事會に於いてうち

平選出 三名中の一名を平市定員一名の選出に抽籤決定を見、他の五名が郡部選出となつてゐる現況にあるが、明年には平市の定員一名の外石城郡選出定員が六名に復活することになるものである

尚本縣が四十四名の縣會議員を選出し得る基礎は昭和十年の國勢調査によるものでその人口百五十八萬一千五百四十九人あり規定では百萬人まで縣議三十六人その上七萬を超ゆる毎に一人の割で增員し得るので百萬以上五十六萬人なら縣議八名を加へ得るので合計四十四人の選出が出來得るといふのである

產馬區長會 石城產馬畜產組合の區長會は二十六日午前十時から平國體事務所に開かれ十三年度豫算其の他の實施事項について協議を遂ぐ

獵奇の慘劇

懲役年十求刑

田人の子殺事件

田人村の慘劇として世人の視聽を集めた田人村大字旅人字前山國有林内炭燒業舞木長三郎（三六）に係る殺人並に放火事件は豫審の結果連子殺しの殺意はなかつたものと認められ、傷害致死並に放火被告事件として今二十四日午後一時から中谷裁判長係り田中、淺野兩判事陪席、大脇檢事立會、酒井官選辯護人列席のもとに開廷されたが獵奇的な事件だけに早朝より傍聽者は詰めかけた處へ磐城高女四年生の見學團が割り込んで傍聽席を埋め中谷裁判長の事實審理に入り被告長三郎は悔のために頭をうなだれて素直に事實を認め凄慘な狀況を供述、午後三時立會檢事は懸役十年を求刑、午後二時十分閉廷、判決言渡しは二十八日午前十時

市參事會

廿六日開會

平市參事會は二十六日午後一時から平市會議事堂に開き

十二年度歳出歳入追加更正豫算の件
市税特別税戸數割に對する辨明の件
土地交換に關する件
寄附採納の件
を附議すると

學力の考査 平第一校は三月七日から三日間全校兒童の學年末學力考査を行ふ

打合せ延期 既報今二十四日第二校に開くであつた管市内各小學校の行事打合せ會は都合に依り二十八日に延期された

体操演習會 平第一校の体操演習會は既報の如く明二十五日から二日間開かれる

天氣豫報
今晩は北西風
明日も北西風
晴

釜戸鎭座諏訪祭禮

濱通り春祭りのトップを切つて渡邊村釜戸鎭座鄕社諏訪神社の祭典は二十六日盛大に執行される

末恐ろしい「不良兒の行狀

餘罪が續々現る

▽……城山に出沒した怪漢も彼！

市内柳町魚商源衛氏四女遠藤キクエ（四）さんを襲つた舊城跡の白畳辻强盗事件の犯人市内鶴宜町古物商道次二男嘉東弘志（四）假名はその後

當局の 嚴重追及の結果昨年の盆頃から平市常設館の世界館、平館のハネ時の混雜に紛れて十數回に亘つて三円乃至二十圓のスリを働き、また刀渡り七寸五分の短刀を常に懷に抱いて徘徊、女學生と見ると

短刀を のぞかせて强迫金円を巻き上げてゐた事實が數回あることも自供したが、昨年春頃毎夜の如く城山附近に出沒暗がりを奇貨に女兒や其他に怪し氣な行動を働き一時〝人搔ひだ〟との噂され學校等に於ても相當警戒した事件もこの

十四才 の少年仕業と見られてゐるが、何分被害者の方で外聞を恥ぢて屆出がなかつたゝめ今迄逮捕を見なかつたもので平署では調書作製のためにも被害者からの屆出なくては非常な不便を來すので此際被害者はどん〳〵申出てほしいと

軍用候補馬鍛練

郡下一圓に普及

（昨報）軍用候補馬鍛練協議會は二十八日平國體事務所に開かれるが鍛練會は現在平市及び郡内では内郷、好間、飯野、鹿島の一市五ヶ村によつて結成されて居るのを郡下一圓に普及すべく名稱の變更、事務所々在地區域役員、指導員等について協議を行ふが當日は縣から山川農務課長、江口技師、荒川屬が來平する

揚操船が一齊出漁

小名濱活況

小名濱港の揚繰漁船は暫らく休業狀態にあつたが今年は特に皇軍の武運長久祈願と銃後の大漁五穀豐穰の祈願を行ひ出征軍人には彈除けの守札を無料で頒つ筈

尚當日は花相撲の外水戸の手踊等の餘興を加へ泉植田、湯本各驛からは自動車を連絡して參詣者の便利を計ると

繁殖產駒の品評會開催

審査等級を決定

揚で繁殖產駒品評會を開き河原田縣飼育場長により審査等級を決定するが出場豫定數は六十頭である

二十一日より各船共魚群を追つて出漁し初め可は俄然活況を呈して來たが魚飢饉に惱んでゐた平地方にも日ならずして新鮮な魚が御目見得することであらう

石城產馬畜產組合では來月二十日頃から上遠野村郷市に二組の國防婦人會が結成され會員獲得に本家爭ひに火花を散らしてゐるが、これは陸軍參與官比佐昌平氏令妹比佐てる子氏が會長となり發會を急いでゐるとき、今度は愛國婦人會員をもつて主とする國防婦人會が結成され會員獲得に狂奔してゐるが裏面には政治的な相剋も潜んでゐるらしく町民は一體どちらに加入すればいゝのか去就に迷つてゐる有樣で事が國防婦人會なだけに注目をひいてゐる

師範合格

磐中十一名

既報去る二、三の兩日行はれた本縣男子師範學校入學試驗の結果は今二十四日發表されたが磐中からの合格者は受驗生二十一名中

△第一部三年篠山遠兒
△第二部五年渡邊祐
同松浦孝　同柴崎秀典
同矢野浩一　同大友義
實同高木孝一　卒業生
紺野義尙　同片寄正彦
同瀬井重光　同平山壽一

の十一名であつた、尙郡下各小學校から同校專攻科への合格者は左の如く

往け！土の闘士

開拓青少年義勇軍

平市主催で壯行會

既報の如く第一回滿蒙開拓青少年義勇軍二百五十名は二十五日平市に集合二十六日午後零時四十九分平驛發

願ひに 友部の國民高等學校に向つて鄙く開拓使としての第一歩を踏出すことになつたが平市では二十六日午前九時縣社子鍬倉神社に於て祈願祭を執行十時から第一小學校講堂に於て壯行會を開き大陸開拓の第一線に向ふ青少年を激勵鼓舞すると

神前に 既報の如く第一回滿蒙開拓青少年義勇軍二百五十名は二十五日平市に集合二十六日午後零時四十九分平驛發

平商生 既報―平商五年生の送別會は明二十五日午後一時から同校講堂に開催されるが餘興に大澤、下山田兩教諭の謠曲、藤井教諭の尺八、鳴原教諭の手品等があり賑々しさを豫想される

送別會

水銀泥の懲役は

もつと重刑の要ありと

富澤檢事が控訴

既報昭和人絹工場の水銀泥一味五名は過般平區から夫々休刑を言渡されたがそのうち

△懲役二年六ヶ月菅原藤太郎△同一年六ヶ月久保木運造△同一年大泉泉二

の三名に對しては判決が輕いとて今二十四日富澤檢事が控訴を申立た

戰地から又も送金

草野の金賀上等兵

草野村大字下神谷字岸出身操氏二男工兵上等兵金賀武彦君は目下皇軍の第一線で活躍中だが今回戰地から同村銃後會と母校へ名五円宛また實家へは甥の就學費にと六圓を送つて來たが同君は先にも同村在郷軍人會事業費として五圓を寄附した事もあり重ねての篤行に關係者は少からず感激しゐるである

重ての篤行

草野の金賀上等兵

生活難の公金横領

赤井元收入役自白

けふ起訴

既報公金を横領逃走中朝鮮國境新義洲通過の列車内で逮捕された赤井村元收入役矢野滑市（四六）は其後平檢事局で大脇檢事の取調べを受けてゐたが生活に窮し去る九年七月から昨十二年六月迄の間千八百圓を横領費消した事實を自供今二十四日業務上横領罪で起訴された

平市人事

回出生

△梅香町白鳥謹一氏長女紀和江さん
△中鹽字沖三一大山七十司氏二男宣雄君
△古餌冶町七川副正雄氏二女葉子さん
△鎌田町五二（東京市足立區梅田町一四五〇）高橋喜四郎氏長女博子さん
△北目町五五（湯本町字臺山六所在）鈴木政明氏長女晶子さん
△長橋町五二（湯本町大字湯本字臺ノ山六所在）寒風澤庄治郎氏二男敏君

回死亡

△長橋町五二（湯本町臺山）寒風澤敏君

山口彌一郎

平市の概觀【三】

平市の中心

△若干の民間行事

平市は關東より東北への漸移地帶に當り、炭礦の開發と共に東北としては稀有の文化をもつてゐる然しそこにも古い傳統の民俗を多分に含み、殊に今回併合の上、市制施行地域に含まれた平窪村に其の傾向が強い。

その一つは「ジヤンガラ念佛」である。

祐天上人の敎へた念佛の一種であると傳へるが、田舍は盆の十四日、平町は十五日の晩に新盆の家へ、十四、五名の念佛團が各村から入り込む。三四人の太鼓を持つた踊り手を圍んで他の者は鉦を打つて周圍を廻るが「モウホイ、ハウハハイ」の囃子で哀調ある唄聲が町の隅々まで流れる。

島小屋は舊正月十四日の夜から翌朱明にかけて九尺四方位の小屋を造り一隅に神棚、中央に爐を設け、十五、六歳以下の男の子が中心となり、夜を徹して鳥追ひを行ふ事である。七小屋參りと言つて若い男女が夕刻から連れ立つて廻り歩いたらしいが、今は參詣に來た人々に御札を配り、神酒を飲ませ、おでん、田樂の類を賣り、最も文化的に蓄音器等をかけて人を呼ぶ等に變化してゐる。

この小屋は十五日未明に燒き拂ふ。

各地にも行はれる盆火は又平町の一偉觀であつた。盆の十三、十四、十五日の三日間。夕刻街の中央にうづ高く根松を積み上げ火をつけ、全町火の海と化す壯觀さをもつてゐたが、昭和九年アスファルトに鋪裝されてからは、この大行事は新興都市の蔭に消え、昭和十年之れに代るべき七夕の行事を仙臺市より移入した。未だ三回であるが、早や仙臺の名物を凌ぐ觀を呈するに至つてゐる。

これらの古い民俗を遺存し、而かも一方に於て新興都市として古い民俗を棄てゝ、之れに代るべき新行事を容易に受け入れ得るところに平市の面目躍如たるものがうかがはれる。

△將來の發展

舊城下町の殼を脫した平市が、常磐炭田の中心都市として著しき發展をみせ、人口三萬、炭礦の東漸に依り地下採掘問題に逢著して、將來に於て炭礦聚落化するかどうか小名濱が商港として、發展して常磐線に丁字形に交る磐越東線が小名濱と結び、完全にクロスして、地方交通上の一大核心たる地位を益々强固にしようとしてゐる。地方農漁村の核心都市としては、限られた發展を持つに過ぎない平市が、今後工業都市化し、炭礦聚落化する日が來るか否か。東京・仙臺の略ゝ中央に位し、常磐炭田を控へ、小名濱港を持ち、近年日立町が帝都近郊の工業都市化せる時に際して、われわれがこの新興都市平市の將來に期待するもの又大なるものがあるのである。

花柳病科　外科
木村外科醫院
平市六丁目橋際　電話三〇九

近眼！老眼！亂視眼!!!用
メガネ澤山取揃へて御來店下さい
是非!!一度！
御來店下さい
正確ト勉强ノ店
玉屋メガネ店
平市二丁目

キネマ
△聚樂館　東寶前進座提携合同作品、河原崎長十郎主演『戰國群盜傳』P、C、L、特作丸山定夫竹久千恵子主演『兄いもうと』東寶P、C、L、超大作松井稔演出藤原釜足、岸井明主演『見世物王國』（料金三〇セン）

今晩の部
▼後六、〇〇（子供の時間）理科物語「雪」東京コドモクラブ
後六、一五國際文化講座「南米第一親日國アルゼンチン」臼井健
▼後七、三〇國民歌謠「柳子の實」井上ケイ子
後七、四〇農家の時間「最近の歐米の果樹園藝」農三博木泰治
▼後八、〇〇舞臺劇「日本人新國劇連中
▼後八、五〇浪花節連夜二題（第二夜）「重の井子別れ」京山小圓

明日の部
▼後〇、〇五マンドリン五重奏行進曲「我が祖國」東京ブレクトラムソサエティ
▼後一、〇〇小學生の時間「高等科」お話「軍歌の話」松井力
▲後一、三〇家庭講座「化學染料について」醫博吉田房雄
▼後三、一〇教師の時間常識講座「日本の國際的地位」法博鹿島守之助
▼後六、〇〇（子供の時間）童話劇「西行法師と秀衡」
▼後八、〇〇管絃樂「交響曲第一」（スクヤビン曲）大阪放送交響樂團
▼後八、三〇物語「王昭君」高杉早苗

まごゝろ（三）……三七五……

大島多慶夫作
井川洗涯畫
布施長春畫
（第四）村瀬春映畫

「若しや父上が救つた侍の成の果てとは御覽なさるか、まつたくその人間ぢや」。
「うむ」
と、春之助は餘りに運命の數奇なのに、呆れ顏をして源太の眼切つてゐる面をみつめてゐた。
源太は、町奴の成一味の者共が春之助を足蹴分の仇敵と狙つてゐることもよく知つてゐる。しかし、長兵衛に事を打明けて計つたならば、必ず春之助を町奴の一人として斬つて捨てられるものと信じたのである。
「いかゝらや、これから俺と一緒に……いや此處へ長兵衛を誘いても好い、一度會つて見たらばどうぢや」
と、源太一流の蔑笑さはなく、非常に眞面目な地味な調子で語りつゞけた。
例へば春之助の謀反心も、此處では一種の惰力に押されてつゞいてゐるので、彼の明晰な頭腦のなかには、到底これは短日月のうちに成功しないといふことは意識してゐた。だから、反逆心そのものには懲意が生じて來てゐたのであつた。しかし、これは男子の意地から云つても自ら破壞し得られるものではない。つまり、他動的に聽かされて初めて捨てゝ見る魚にもなれる心の濕れである。かういふ條件から、春之助はいつそ源太の言葉にしたがつて、不安の狀態から最うすこし安定な身の上になつて見やうかと考へたのであつた。
「大藤等氏、この身は一ッお任せいたそう」
と、急に明るい面色をして源太に云つた。
源太の面には心底好き相な笑やかさが現はれて來た。
「好し、それがやがて御身が出世の端緒になるかも知れない、長兵衛へ使を出さう」
と、源太は酒に待つてゐた湯女に云ひ付けて、料紙と硯をもたせた。そして、サラ〳〵と簡單に急用が出來たる旨を認めて、三枚屋の驚龍で花川戸の家まで湯女を使ひに出したのであつた。
長兵衛は生憎留守だと云つて湯女は戻つて來た。源太は明日にも夜分に一緒に行かうといふことにして、また春之助を相手に酒をみゝ初めたのであるが、しかし、急に春之助は他わいもなく酔ふこゝを覺める氣持になつた。つまり、自分の身は薄い氷の上を渡つてゐるのであるといふことが、酒に心の半分をうづめて、來たからであつた。だから、源太は酔ふても春之助は酔はなかつた。
「今夜は一緒に四の櫛の驚れ家まで歸らう」
と、源太は春之助を伴なふと云ふよりも、反對に小搦され伴ら丁字風呂を出やうとするとき、三枚屋の驚龍で長兵衛が駆けつけて來た。
「おゝ、大藤等樣」
と、長兵衛は眼もとろ〳〵になつてゐる源太の顏を見て口を開いた。
源太は危く踏み止まつた。
「や、長兵衛さん、來たな、好し給らば引返す」
と、源太は長兵衛と共に、春之助に小搦され伴ら又奥の二階へと行つた。
下の驚龍船頭に、おろくが陽氣に小搦されの三味線で小唄をうたつてゐるのがなまめかしく聞えてゐる。

家庭

世はさまさま

ウエーブ パーマネントウエーブを禁止したところが、一日ウエーブといふのがはやり出した

女の賢さは金よりも尊し

神近市子

□ 子供のための人類史を書いて世界的に名高い神近市子さんは、風俗も世間もまつたくちがふ人々と生活して感じたことは、人情とか人間の貴尚とかいふことが、人の生活を支配してゐる事は、どこの國でも同じだといふ事でした。そして一番感じた事は、若いコフマン夫人が新々利口な人で、その事が一家をどんなにか幸福なものにしてをり、そして幾來もする五日間、風俗も世間もまつたくちがふ人々と生活して感じたことは、人情とか人間の貴尚とかいふことが、人の生活を支配してゐる事は、どこの國でも同じだといふ事でした。そして一番感じた事は、若いコフマン夫人が新々利口な人で、その事が一家をどんなにか幸福なものにしてをり、そして幾來もするだらうとおもはれる事でありました。

□ コフマン夫人は、美しさも幾へた人ではありましたが、それよりも何か魅惑なものを多く持つた人でありました。公式の訪問や招待にはあまり出たがらない人でしたが、それでもすゝめられて出かけると決して幾感な人でなく、どんな場所にでも出過ぎぬ程度の意見を述べ、十分幾感をしたりしんでゐるやうでした。

□ 誠かな夫人を「こんな夫人を持つた人は幸福だ」とおもはれる程でありました。公式の訪問や招待にはあまり出たがらない人でしたが、それでもすゝめられて出かけると決して幾感な人でなく、どんな場所にでも出過ぎぬ程度の意見を述べ、十分幾感をしたりしんでゐるやうでした。

簡易生活

支那點描

支那人はきたない、かうした家へは誰でもおこすもので、日本人にとつて幾く支那の生活は不潔すぎみにくい感におもはれる

駐日本の生活から見ればそれは無駄でその例をあげてみれば、着物はくさくなる程同じ物を着つゞけた樣、不潔汚穢は誠かまはず家の穢りにしてその後始末は豚に食はせる

洗面器で手もあらへば飲み水もくみ、鍋釜を洗ふ手桶と布巾を洗ふ手桶は同じだ、穢だしいのになると便器をあらつた側の水をくんで来てそれで飯をたくなど、こんな事位は支那人にとつては毎日の當りまへな事で、一寸日本の生活では考へられない事である

然しかうした支那の生活樣式は要するに大陸的な民情からくる大きかなそして簡易的な事からくるのであつて、實際支那を歩いてみてその家の中の簡易な事には誠に驚かされる

田舎でも町の中でも選くから見ると感ずる機關の一部でもあるかとおもはれる機械器々は建物がいくらでも目につく、遊づいて見ると廉氏とか周氏とかいふ感じの人が居るとおもはれる程の簡易な生活をしてゐるのである。

支那人はきたない、かうした家へは誰でもおこすもので、日本人にとつて幾く支那の生活は不潔すぎみにくい感におもはれる

駐日本の生活から見ればそれは無駄でその例をあげてみれば、着物はくさくなる程同じ物を着つゞけた樣、不潔汚穢は誠かまはず家の穢りにしてその後始末は豚に食はせる

洗面器で手もあらへば飲み水もくみ、鍋釜を洗ふ手桶と布巾を洗ふ手桶は同じだ、穢だしいのになると便器をあらつた側の水をくんで来てそれで飯をたくなど、こんな事位は支那人にとつては毎日の當りまへな事で、一寸日本の生活では考へられない事である

然しかうした支那の生活樣式は要するに大陸的な民情からくる大きかなそして簡易的な事からくるのであつて、實際支那を歩いてみてその家の中の簡易な事には誠に驚かされる

田舎でも町の中でも選くから見ると感ずる機關の一部でもあるかとおもはれる機械器々は建物がいくらでも目につく、遊づいて見ると廉氏とか周氏とかいふ感じの人が居るとおもはれる程の簡易な生活をしてゐるのである。

いふ感じであるが、貯うした家でもいざ一歩門をくゞつて家へ入つてみるとまるで別つ世界にした感みたいに感覚ながらんとした生活ぶりである

まして一般支那の家庭生活はたつた三つ位の道具で事足りてゐる手ッ取ればやくいへば夫婦手供位の生活をあつたらば、寝床と食卓に洗面器これだけですべて片付いてしまつてゐる。他に特別な小ヒツが一個位あつてこれに貴物や大切なものをしまつておく位のもので室の中はがんからがんである。日本の座敷の樣に押入れに蒲團や長持、つゞら、コリをギツシリとつめ一部屋に箪笥や鏡台、机、食卓、火鉢などワンサとならべ込んで夫婦の寝る所もないなどといふ無駄な生活と違つてゐる

これは支那人にはタンスや長持にしまひ込んでおく樣な簡換への必要もない感から来てゐるが一面には兵隊感に極次々りやく樣などに簡易の無駄な努力を知つてゐる樣の振る舞ひもあるのだ

かうした簡易生活の中にあつて

主婦の責任愈よ重し

新しく所得稅を納める人は五十萬人——六千三百萬圓、これも銃後のおつとめ

昨年の增稅で最も注目されるのは國民生活に關して來る新三稅の增稅です、增稅額は現行稅額の二割五分增稅となります、その上に從來は規定の控除額を別に所得額千二百圓以上の收入をあげる人が稅率を掛つてゐたものが、今年の四月から年千圓までとなつてゐます、つまり今までは月給の年總額賞與の利子總式總額、出張出稅の收入等を合算して總額を差引き所得千二百圓と査定された人は十一圓五十二錢の所得稅納めてゐたものが一躍十五圓となり、更に控除されてゐた者も一般の所得がある程度以上になれば十圓を納めることになるのです

◆◆

稅も所得稅を査定するには勤労收入の二割を引き、さらに子供（十八歳以下）老人（六十歳以上）不具廢疾者の家族があれば一人につき百圓控除するのですから實收入が千二百圓あつても家族の狀態によつて所得千圓以下と認められ、課稅されるわけです

◆◆

かうして稅額引下げのために新しく今回より所得稅を納める人は約五十萬人に上り、この所得稅の增稅による總額は約六千三百萬圓になつて非常時國家の財政をまかなふ原動力となるわけです、物價が騰つてその上稅額が重くなる事に生活を脅々切迫させる事勿論であるけれども目下の國情を考へ、さらに愈い命が惜しくて國のために戰場に活躍する兵隊さん方の事をかんがへればこの程度の增稅は銃後にあるもの、心然の事であるといへませう

◆◆

事に增稅せずに公債でのみ財源を賄をまかなはうとすれば通貨膨脹インフレを起して物價が暴騰に陥つた所が國民としても幾難としなければならないのです、さて、今回の增稅を所得金額總額別に見ますと、年收千五百圓の者は二十四圓三十七錢、二千圓の者は四十九圓卅七錢、三千圓の者は百十八圓卅二錢、五千圓の者は二百九十四圓十二錢となり、年收千圓の者は四十七圓位をおさめる事になりませう

今回の增稅は勿論支那事變に新興するための臨時的のものですが、戰後も暫らく改めることは困難で相當長期にわたつて國家に協力しなければなりますまい、それだけに主婦の正しい經濟觀念を發揮し、よく家計を整理して國家を援助すべきであります

それ故この現行附加稅をくはへると千二百圓の所得者は約十七圓位になり、年收千五百圓の者は二百九十三圓十二錢となり、これをさらに昨年の四月改正前の舊稅額に比較すると約六倍のやうになります從つて昨年の改正前（舊稅額）とくらべれば約六倍近く上つたことになります、このほかに附加稅、市町村などの附加稅がありますが、これは今度の增額には關係ありません

◆◆

昨年四月改正稅

	舊稅額	新稅額
千圓	四圓	一〇圓
二千圓	九圓六〇錢	一五圓
三千圓	三〇圓六〇錢	四九圓三七錢
	七〇圓六〇錢	一一八圓一二錢
	九一圓七八錢	

六年生の親達へ

試驗と睡眠

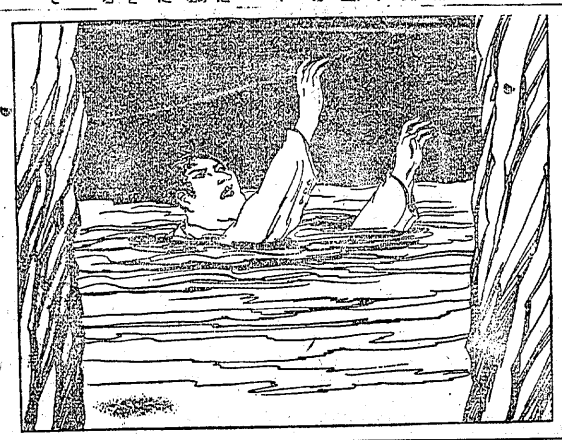
問—我々の試驗は新隊式で時が時だ、その活動もあるのにくはへて、その活動も激しいところから、消極的にも試驗がよこれるから、毎日一回は大浴して身體の清潔を保つ事が大切であります、湯に入る時刻は夕食前食後に入るのがよいのですが、もしも試驗の前の日にでも當つて勉強を休めようとするならば、また心身が興奮して床についてもねられないやうな場合には、ねるまへに入浴する方が却て効行をよくし、よく睡眠が出來ます

問—食物は特に試驗時は色々な物を選擇して食る必要があります試驗前になりますと一般食物といつて美食したがら却て元氣がおとろへ、若白な顔になるのは何の樣ができませうか、それは運動や睡眠の不足、腦の疲勞といふこともありませうが、要する、無茶苦茶の所行を慎い美食の罪だといつてもよいのであります

問—大いに勉强しなければならぬ場合は、美食と節食とをいましめてよく營養價値を考へ、そして消化しやすい食物をとられば良いのです、たとへば野菜では大根、かぶ、人參、蕗鉢菜といつたやうに、澁柿があつて消化のはやいもの、魚類では鰹、かれい、あさりなどが最も消化がよい、その他牛乳、牛酪玉子、こんぶ、若布などもよい樣食であります、そして特に食事は十分にそしやくすることが大切であります

ほくろ十態

手首や指にほくろのある人は男女とも勤勞に秀でる相ですが、それが手の掌にあれば、天下に名を成す人ですから、見合をする時はよく注意して見ることで若しもあつたら縁談に過してはなりませんぞ、それが恥かしいといふなら佛人に忍ばせほくろの位置を聞くとよろしい。もし既婚の方で思人にこのほくろがあつたら夢々縁末にするべからず。



愛慾非常線

寺崎洋々洲作 松村秀彦畫

……昭一二二……

（九）

端緒

愛度か手を叩いても、誰も出て来る氣配がないので無らなくなつた統納所長は大聲を發して

『おい誰も居ないか、客を待つた樣何をして居るのだ』

と、繰叫しても誰も出て来たいので、怒々踏み込みの思ひを定めて隣に見世へ上らうとする時出て来た少年の番頭は

『どうもお待たせ致しました、先刻申し上げました通り山田さんのお入來に成りましたのは私は少しも知らなかつたので御座いますが、良く調べて見ましたら、唯今主人と襖裏の最中で御座いますから少々お待ち下さ

『えッ待つる……』

と統納所長は面を上げると時に、中島刑事に目配りするや一緒の刑事と共に二刑事は勢激しく奥の間目掛けて駆り込んだ。

×

今かく〳〵と待ち受けて居た刑事は統納所長が吹き鳴らした一聲の警笛を耳にするや

『其れッ……』

と、喚き叫んで我れ先きにと襖を蹴倒して見世に駆り込まうとすると、一人の若者が蹴躓を流して飛出して來たので

『此奴を逃がすなッ……』

と密に蹴る蹴の下を潜つて怒らの中に隠手小手に縛めた樣、見世へ引き入れて床柱へ括り付けたまゝ、奥の間へ駆り込むと何故かヒソヒソカンとして人の影も見もしない

『どうしたのだら』

と一同は次の間から覗べ〳〵と待つて見ると西邊の隠を覗

してあるので隠の隙の隙であるが、何處とも知れず人が水を泳ぐやうな音がする

『落し穴があるから氣を附けろ〳〵』

と繰叫して居るのは確に一刑事が聞き覚へのある統納所長の聲である。然る一大事と一同は其の聞取り後した樣子も無く唯氏下に怒つて、ボチャ〳〵と二刑事が水を泳いで居る樣子が聞こえた樣子も無く唯氏下に怒つて、ボチャ〳〵と二刑事

『其れッ氏下だ……』

統納所長の一刑事が隠の中央に潜んで隠に三度目の隠の上に飛ぶと、隠くべし、隠の中央には隠が心になりて崩壊崩壊しとなつて居た樣

『あアッ……』

と叫んで水もや一刑事は氏下へ轟落してしまつた

『此處だテモー大丈夫だ』

と一同は其の隠を踏ね廻けて隠の下を駆ると隠くべし、約四間ばかりの土を三十尺も氏下げて中には水を湛へて在るので一同は地獄隠を踏み

『さア此の綱に捉つて上りなさい』

と紳士をトぼうと統納中島及び最後に隠落した刑事は隠くので上へ昇つて來たが、中島刑事の婿は全く隠ケ崎の打撃隠を負つて居た。

大捷春の！
獨特のコーヒーとWINE
紳士の喫茶店
ルリグバツカス
サービス一劃（外拜辭）
平市銀座通 TIL702

女店員募集
面白く眞面目に安心して働ける給料制度です
委細は本人面談

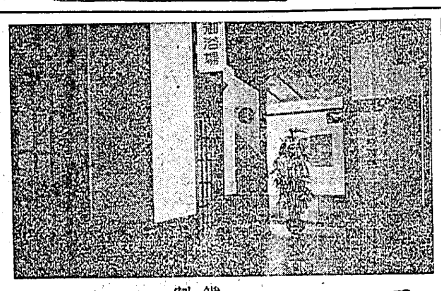
新研究の榮養化粧水
三共パパコロン
新製品
南洋の珍果パパイヤの果汁から抽出したパパイン酵素應用の特許新化粧水です。ニキビ・ソバカスの痕を消しスベスベしたお肌に若返へります。
一本 35セン
尚榮毛料として評判のヨウモトニツク姉妹品ヨウモト香油（¥.60）もあります。
三共株式會社製品總代理店
（平市）西村屋藥局（電3）

美味！芳醇！
宗正らひた
内科 外科 一般
金成醫院 金成 忠義
平市鎌田町 電話三五八番
山崎合名會社 電話一〇番

上原家政婦會
平市紺屋町一一
會主産婆 上原通子
電話二二番
産婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

如何にして成金になつた？
日支事變は國力の大發展であり我經濟界の一大飛躍期であります。事業の擴充、財界の膨脹期に於て、苟くも株式界に雄飛せんとせらゝる方は、眞に千歳一遇の絶好期であると同時に、相當の危險もあることと思はれますので、當事務所は各位の危險を避け御成功を希望する爲め過般來數ある法則や卦線學を檢討吟味いたしました結果、茲に株式相場の波動原理と必勝相場術なる憲法書を推奨する次第であります。御希望の方には御申込次第お分ちいたします
平市四丁目三十三番地
富岡事務所
電話二五八番

一口！とんかつ
シューマイ 電28福壽



各種木工品 神棚、家具建具 製作卸
大量の御註文は特に勉強致します
橋本屋木工場
平市新川町（電一六三番）
◎見習徒弟入用優遇す給料面談

季節珍味 小鳥料理
鐵道省指定旅館 割烹 小瀧
電話小名濱一〇三番

外科 内臓外科 X光線科 院長 安齋徹
新設
産婦人科 醫學士 黒澤廣
▽入院隨意△
平市田町 安齋醫院 電話四七五番

ベークライト職工見習募集
一、募集人員 三十名
一、年齢十四歳以上二十歳迄の男子
一、待遇
十四歳、十六歳日給七十五錢
十七歳、十八歳 八十錢
十九才、二十才 一圓
一、技術修得ト共ニ漸次昇給ス
一、寄宿舎ノ設備アリ、賄料ハ實費
一、申込所 平市職業紹介所
詳細は平職業紹介所に照會され度ク
東京市大森區大森町入新井町七丁目二六一
ミクニ工業所 電話六九〇九番

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話六番
醫學士 吉田久雄

銀なべ 牛鳥 豚汁 串カツ
珍味御試食願上ます
チンヤ式食堂 新かな食堂 一の井
平市三田小路（電一七六番）

磐城セメント會社特約店
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は
磐城平市五丁目 電話九・九九
釜屋商店

御贈答に……
美味 鰹節 鰹鹽から
魚岡屋
志賀盛榮商店
平市四丁目（電話二一三番）